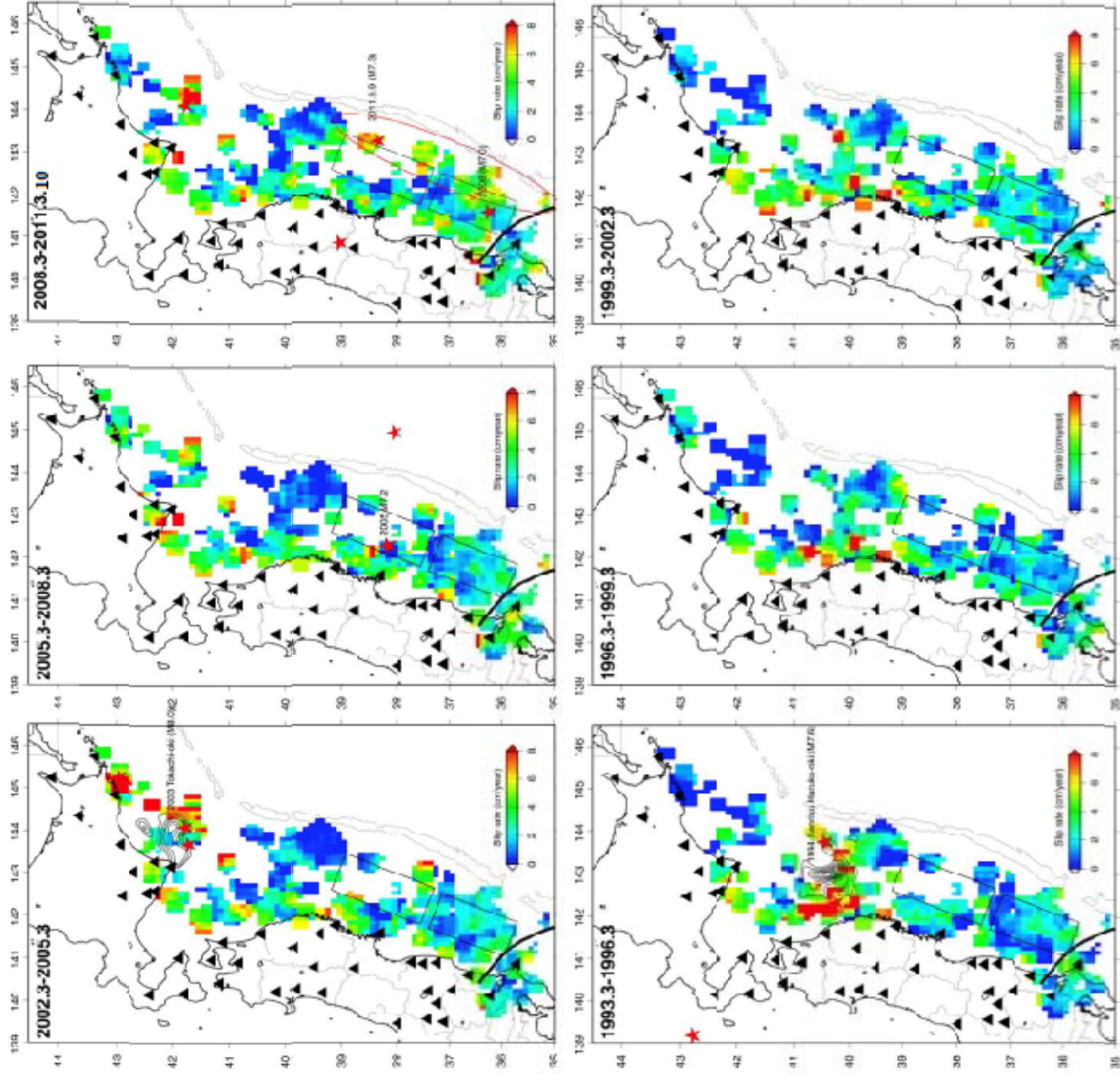


小繰り返し地震から推定される固着の剥がれ

- 3年ごとのすべりレート
- 矩形2枚は地理院のモデル
- コンターはYamanaka and Kikuchi, 2003; 2004によるアスペリティ
- 黒太線はフィリピン海プレートの北東限
- 星はM7以上の地震
- 2008年以降震源域の浅部ですべりレート増加

山岡委員資料



(東北大学)